

朝鮮語教育学会第 100 回例会プログラム

日時：2025 年 9 月 6 日（土）10 時～17 時 30 分

開催場所：早稲田大学戸山キャンパス 36 号館 681 教室・682 教室 *対面のみ

参加費用：会員無料、非会員 500 円（当日受付で支払い）

参加申し込み（例会）：<https://forms.gle/pMWXZaGdCa66vzTt6>（9/3(水)18 時締切）

参加申し込み（懇親会）：<https://jaskle-dinner.peatix.com>（8/28(木)23 時 59 分締切）

*懇親会申し込みはお店の規定により参加費(5,500 円)支払い後のキャンセル・払い戻しができません。予定確定後にご申請ください。

**定員 50 名、一人 5,500 円（飲み放題付き）です。懇親会費用の支払いと同時に参加申し込み完了となります。締め切り前でも定員に達した場合は懇親会の申し込みを早めに終了することがあります。ご理解ください。

<プログラム>

◆午前の部（10 時～11 時 55 分）681 教室・682 教室 総合司会：山崎亜希子（成蹊大学）

[681 教室]

10:00～10:10 開会

10:15～11:00 発表1 司会：全相律（神田外語大学）

최정아（早稲田大学）・이정애（全北大學校）

群読に基づくリーディングパフォーマンスの可能性の探求—韓国語のレベルによって現れる学習効果を中心に

군독을 기반으로 한 리더퍼포먼스의 가능성 탐구 -한국어의 수준에 따라 나타나는 학습 효과를 중심으로-

発表要旨

本研究は、群読を韓国語の授業に適用し、その学習効果を調査することで、群読に基づくリーディングパフォーマンスの可能性を探求することを目的としている。具体的には、A 大学で韓国語を履修している3つのレベルのクラスを対象に、それぞれの学習レベルに合った教材を準備し、群読のリーディングパフォーマンスを構想した。その次に、中間テストの後のタイミングで実践授業を行い、その学習効果についてアンケート調査を行っている。群読は、詩や物語のようなテキストを、内容に合わせて複数の人が分けて読む分読形式の立体的な言語表現活動である。本研究は、一緒に声を出して読むことができ、演劇のように誰もが役割を担当してテキストを読むという点で、群読の持つ共同学習の効果とリーディングパフォーマンスの可能性に注目した。本研究は特に、群読を初めて大学の韓国語授業に用い、レベル別にクラスの学習効果を調査した点で意義があると考えられる。

11:10～11:55 発表2 司会：全相律（神田外語大学）

金珍娥（明治学院大学）

中上級韓国語教材の開発

중고급한국어교재 개발

発表要旨

入門から上級までの教材開発研究を遂行している。本発表はそのうち、中上級段階の学習者のための、金珍娥・野間秀樹著『ユアと韓国語 上級』（くろしお出版）に結晶した内容を共有し、韓国語教育への更なる展開への呼び水とするものである。

- 1) 韓国語を理解するという一方向の記述ではなく、韓国語と日本語の対照言語学に立脚する。
- 2) 한다体、引用表現などを中心に、中上級レベルの話しことばと書きことばへ体系的に接近する。
- 3) 文法研究で得られた知見を生かし、種々の意志表現や、非敬意体の疑問表現など、文法と表現を扱う。
- 4) 既存の教材で見落しがちな“韓国語の本然の姿”を形象化しできあがった教材である。「詩と小説のことば」「古典小説物語」「古宮物語」「三一運動」「韓国のクリスマス」「日本語と異なる우리」「四字熟語」など、文学や文化、歴史を照らす内容を収録した。

[682 教室]

10:15～11:00 発表3 司会：岡村佳奈（亜細亜大学）

趙智英（同志社大学）

ナラティブ構造の観点から再構築する《흥부전》と日韓比較文学教育の可能性

내러티브 구조 관점에서 재해석한 《흥부전》과 한일비교문학교육의 가능성

発表要旨

本発表では、韓国学教育の一手法として朝鮮後期のパンソリ系小説『フンブ伝』と日本の類話をナラティブ構造の観点から再構築し、日韓の文学作品を通じた対話的かつ多文化的な理解を促進する教育方法の可能性について考察する。『フンブ伝』は兄弟譚、対立構造という枠組みに焦点を当てた研究や、時代背景と社会制度に焦点を当てた研究の蓄積があり、また昔話や絵本としても広く親しまれていることから、韓国語教育の現場でも用いられることがある。本発表では『フンブ伝』における善と悪、成功と失敗という対比構造、人物造形の周りに散見される要素の文脈的機能と道徳的価値観に目を向け、物語の読み直す教育的アプローチを検討する。日本の類話とされる昔話（『舌切り雀』『腰折れ雀』）との比較を取り入れることで、学習者が韓国の文化や思想、倫理観、社会構造のより深い理解へとつなげる実践的意義を探る。

11:10~11:55 発表4 司会:任炫樹(帝塚山学院大学)

方閏濟(関西学院大学)

『케이팝 데몬 헌터스』에 나타난 기호학적 이중성과 탈식민적 혼종성의 한국문화교육적 활용 가능성

「KPOP ガールズ! デモンハンターズ」における記号論的な両義性とポスト植民地主義的混種性の韓国文化教育への活用可能性

発表要旨

본 발표는 넷플릭스 오리지널 애니메이션 『케이팝 데몬 헌터스』를 대상으로 하여, 찰스 샌더스 퍼스의 기호학, 롤랑 바르트의 신화 이론, 그리고 호미 바바의 탈식민적 혼종성 개념을 통합적으로 적용해 분석함으로써, 이 작품이 재현하는 K-pop 문화의 상징 구조와 문화 정치성을 해명한다. 『케이팝 데몬 헌터스』는 K-pop 을 단순한 음악 산업이 아니라 정체성의 생산과 소비가 중첩되는 이데올로기적 문화 기호로 전제하며, 시청각적 기호체계와 캐릭터 서사를 통해 지배와 저항, 상품성과 정체성 투쟁의 이중 구조를 드러낸다. 특히 전통적 악령 서사와 현대 K-pop 아이돌 이미지를 결합한 혼종적 서사는, 세계화된 K-pop 속에 내재된 서구적 시선과 한국적 특수성의 긴장 관계를 상징적으로 표출한다. 이러한 구조는 K-pop 콘텐츠에 대한 단순한 문화 소비를 넘어 비판적 문화 읽기의 가능성을 열어준다. 이를 바탕으로 본 발표는 『케이팝 데몬 헌터스』에 대한 면밀한 분석과 함께 한국문화 수업에서의 교육 자료로서 활용할 수 있는 가능성을 탐색하고자 한다.

◇12:00~13:30 昼休み

◆午後の部(13時30分~17時30分) 681教室 総合司会:山崎亜希子(成蹊大学)

13:30~14:15 発表5 司会:崔銀景(関西大学)

이진(세종대학교)

거대언어모델(LLM)을 활용한 한국어 학습자 오류 교정 양상 분석

大規模言語モデル(LLM)を活用した韓国語学習者の誤り訂正パターンの分析

発表要旨

본 연구는 거대언어모델(Large Language Model, LLM)이 한국어 학습자 작문에 나타난 오류를 얼마나 잘 교정할 수 있을지 그 가능성을 탐색하는 것을 목적으로 한다. 국립국어원의 <한국어 학습자 말뭉치>에서 한국어 학습자 작문을 선별하고 GPT-4.1 을 활용하여 한국어 학습자 작문에 나타난 오류를 교정하게 한 후, 그 결과를 인간 교정자의 교정 양상과 비교·분석하고자 한다. 또한, GPT-4.1 모델을 한국어 학습자 말뭉치로 미세조정(Fine-tuning)한 모델과 검색증강생성(Retrieval-augmented generation, RAG)을 적용한 모델을 각각 생성하여 한국어 학습자 오류 교정 결과를 비교·분석하겠다. 거대언어모델의 한국어 학습자 오류 교정 양상을 확인함으로써 한국어 학습자 오류 자동 탐지와 교정의 가능성을 탐색해 보고자 한다. 또한, 미세조정이나

검색증강생성과 같은 기법을 통해 거대언어모델의 한국어 학습자 오류 교정 성능을 향상시킬 수 있을지도 함께 살펴보겠다.

14 : 20~17 : 20 【特集企画】第 100 回例会記念講演 司会：朴鍾厚（同志社大学）

【특집기획】제 100 회 학술대회 기념 강연

「日本における朝鮮語教育の発展のための模索」

‘일본 한국어교육의 발전을 위한 모색’

14 : 20~15 : 30 講演 1 고경민（건국대학교 글로벌캠퍼스 교양대학）

경계를 넘어, 세계의 일상으로: 한국어교육의 어제와 오늘

境界を越え、世界の日常へ：韓国語教育の昨日と今日

15 : 40~16 : 50 講演 2 油谷幸利（同志社大学名誉教授）

「朝鮮語教育学会の歩み」一草創期を中心にー

‘朝鮮語教育学会’의 발자취 - 초창기를 중심으로-

17 : 00~17 : 20 講演 3 睦宗均（近畿大学）

100 回の対話と実践の軌跡ー朝鮮語教育の深化と次なる地平へー

100 회에 이르는 대화와 실천의 궤적 -한국어교육의 심화와 새로운 가능성 탐구-

17 : 20~17 : 30 閉会

18 : 00~ 懇親会（高田牧舎（東京都新宿区戸塚町 1 丁目 101）：会場徒歩 5 分）

*後援：アジア研究基金（아시아연구기금, The Asia Research Fund）